

# 守口市立大久保中学校

## 防災・防犯だより 2

### 線状降水帯の対策方法は？

線状降水帯は、空気中の湿気が多く、かつ気温が高い状況で起こりやすいといわれており、

梅雨の時期

台風や熱帯低気圧の発生時

水温、地温の上がりやすい夏季

には特に注意が必要です。

予兆が少なく、急に発生することもありますので、発表された時点ですでに雨が降っている場合もあるため、以下のような点に注意して対策をとることが大切です。

- ①外出や屋外での作業を避ける
- ②川沿い・海沿いに近づかない
- ③避難所への避難・垂直避難・在宅避難など、状況に応じて適切な避難を行う
- ④気象情報・自治体からの避難情報を随時確認する

また、雨だけではなく、雷をとまなうことも多いので、以下のような落雷対策にも気を付けましょう。

- ①近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難して下さい。
- ②鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。
- ③木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れれば更に安全です。
- ④屋外では、高い場所から一定距離離れた場所で、待機することを心がけましょう。(右図)

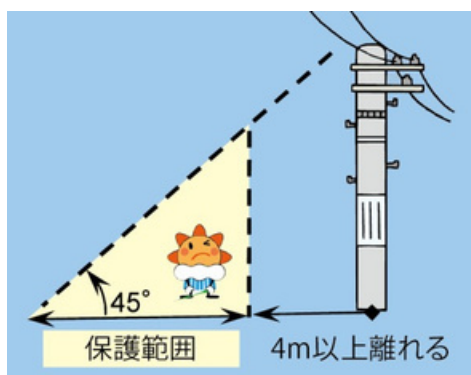
### 台風の接近等に伴う生徒の対応について

- (1)午前7時現在でレベル4危険警報及びレベル5特別警報(守口市)が発令中の場合は自宅待機とする。
- (2)午前10時までに上記の警報が解除された場合は登校する。
- (3)午前10時以降も上記の警報が発令中の場合は休校とする。

### 地震発生時における生徒の対応について

- (1)生徒の登校以前に、守口市域に「震度5弱」以上の地震が発生した場合は休校とする。
- (2)「震度5弱」未満であっても、被害の状況に応じ、自宅待機とする

学校からの指示がない場合でも、「生命の安全」を第一にご判断ください



雷から身を守るには ― 安全対策Q&A ― : 日本大気電気学会 から引用 ―

まずは、「命を守ること」を最優先に、

安全対策に取り組みましょう！